

自宅で縁側～Fさん～

庭を開放してお茶のみ場に

家の隣が医院、おむかえに薬局があることから、お年寄りのみなさんを見かける機会が多いことや登下校の小学生の姿を見て、ちよこつと休憩したり気軽に寄っておしゃべりができたらいいなと、日ごろから思っていました。

そこで、車庫やお庭でお茶のみ場を作ろうと始めました。



まちの縁側のあり方は多様です。「縁側と決めた時から人が来る」という名言がありますがその通りです！

ちよこつとみんなでお茶のみができたらいいな・・・そんな思いを実現させている人たちがいます。

かわらばん

まちえんながの

第29号

11月1日(月)

発行

まちの縁側育みプロジェクトながの



- ・週に一度、生協の品物が届く荷受けさんの所でのおしゃべり
- ・デイサービス
- ・はつらつ体操に行っているけど3月でなくなってしまう
- ・近所を散歩してる。
- ・犬や猫を連れて人に声をかけるとそこからおしゃべりができる
- ・畑で遊んでる・・などでした。

お茶を飲みに来たのは歩いてくることができると近所さん。80代90代の方ばかりです。

日頃遊びに行くところを聞いてみました。



ちょっとした手遊びや体操で介護予防



手作りの漬物があると話もはずみますね

皆さんの多くは、数年前まで近くの老人福祉センターの講座やグループ活動に参加されてきました。自転車に乗れなくなったことや歩くのが大変になったこと、参加することが億劫になったことが行かなくなった理由のようです。

年齢を重ねるとともに、自分の遊ぶところが、今日行けるところがだんだん自宅の近くへ変化しました。「このような場を提供してもらえてうれしい」とみなさん。気軽なお茶飲み会が続きそうです。

介護保険制度が変わり長野市でも十月より総合事業が始まり、つどいの場、通いの場がこれまでに以上に求められています。

まちの縁側は、そうした場の一つとして注目されています。

まちの縁側 太鼓判

ここは、「まちの縁側だよ」とわかる
「まちの縁側太鼓判」。
縁側を実践しているみなさんに差し上げています。



まちの縁側太鼓判のプレートをはしい方は下記へお問い合わせください。

連絡先

matushiroan@gmail.com

080-6939-2719 (西澤)

県内に広がるまちの縁側

県内各地で「まちの縁側講座」が開催されました。それぞれ目的や内容も違いますが、次から次へとまちの縁側が発掘され、また新たに縁側を開く実践者も登場しています。各地区の様子をご紹介します。

●長寿社会開発センターが主催するシニア大学では、シニアの社会参加授業の中でまちの縁側実践講座を開催しています。今年度は北信学部の中野市、佐久学部の小海町の二か所で行われ、新たな活動も始まっています。

●長野市ボランティアセンターでは、長野市の南堀地区を舞台に縁側を巡って体感する講座を開催しました。

●中川村では、居場所やつながりを考える講座として行われました。

●小川村は、地域福祉を推進する連続講座の一環で、行われました。

シニア大学



昨年、まちの縁側を学んだシニア大生が自宅の庭でまちの縁側を始めました。これからどんな縁側になっていくか楽しみです。シニア大0Bによる「スーパーで縁側」も継続中です。

中川村

◎洋品店の看板には地域に貢献するコミュニティストアと書かれています。収穫ケースに板をおいて即席ベンチ。アイデア一つでなんでもできます。

◎スーパーの一角にあるひろばを何とか活用したい！参加した皆さんから様々なアイデアが出されていました。講座の後再度集まって活用方法をさらに深める場をもち、推進する団体「まちの縁側プロジェクト中川」が誕生したそうです。



長野市南堀



癒しの黒板は、子供たちの通学路にあります。学校であったことやちょっと悩んでいることなどを描いていく、心の内を出せる場になっています。

伝統文化を守る場、畑、お寺、自宅に開いた文庫など南堀地区の縁側は多彩！

小川村



まだ互助の関係が残る小川村です。ベンチは二人をつなぐ縁側になっていて、二人のおしゃべりはまるで漫才のよう・・・二人の明るさが人を引き付けています。こうした気軽に腰かけておしゃべりできる場を作りたいと意見が出ていました。元祖縁側や古民家の活用、縁側犬ならぬ縁側牛も小川村ならでは！

まちの縁側情報を facebook でご覧いただけます。

https://m.facebook.com/engawahagukumi/?locale2=ja_JP